

飯山市第6次総合計画基本構想（素案）

市民意見募集（パブリックコメント）の結果と市の考え方・対応（案）

一部調整中

案 件 名	飯山市第6次総合計画基本構想（素案）		
募 集 期 間	令和4年10月31日（月）～令和4年11月30日（水）		
意見の提出	27件（5名）		
市の考え方・ 対応	修 正	素案を修正するもの【区分1】	5件
	参 考	今後の取組みの参考とするものや、ご意見として伺うもの【区分2】	22件

意見と市の考え方・対応（案）

（R4.12.1 現在）

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
1	2	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 （1）人口減少	人口減少のどの部分が問題なのでしょうか？ 子供が減るとことは現役世代が増えず、税収が減るということです。 老人が増えるということは現役世代が減り、税収が減り、負担が増えるということです。 素案の2ページに「社会保障制度の基盤を不安定なものにすることが懸念」と記載されていますが、「不安定なものにすることが懸念」ではなく、「現時点ですでに不安定で、10年後には破綻する懸念」です。 こういった公的な文書の書き方で正しくない安心感は記載しない方が良く考えます。 自治体の在り方を根本的に変えないと現役世代に地獄が待っていると思います。	人口減少・少子高齢化が進むことにより、現状の行政サービスの維持は困難になる可能性があります。このため、10年後の将来に向け、健全な行財政の運営を念頭に、集落維持をはじめ、様々な施策を推進してまいります。【区分2】
2	2	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 （2）SDGsの推進について	「誰一人取り残さない」ことは不可能と思います。 こういった聞こえの良いサービスのような考えは本当に必要なのでしょうか？ 本当の意味で、持続的に飯山市が存続するための施策が必要です。	ご意見として伺います。 なお、基本構想を含む総合計画の対象は全ての市民です。SDGsの理念である「誰一人として取り残さない」と同様に、全ての市民を対象に施策を推進してまいります。 【区分2】
3	2	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 （4）社会全体のデジタル・トランスフォー	いわば社会全体の 具体的に日常生活の中でのデジタル化に対して市民にとって何が求められどう対応していくか。を示すべきでは。	市民においては、デジタル技術の恩恵を受けるため、ITリテラシーの向上などが挙げられます。 市民のみならず、行政の役割や取組は、前期基本計画においてお示しします。【区分2】

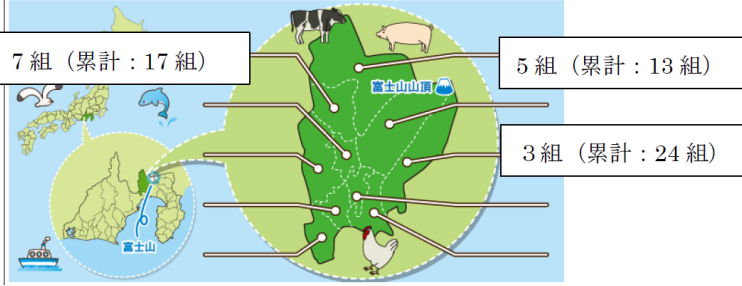
NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
		メーセッション		
4	2	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 (4) 社会全体のデジタル・トランスフォーメーション	重要なのはDXではなく情報が正しく素早く市民に伝わることです。 この素案自体、ITリテラシーをある程度持っている私でもホームページ上で探することが困難でした。 一体どうやって市民はパブリックコメントが投稿できることをネット上から知るのでしょうか？ まずはこういう広報における縦割りでの情報伝達のミスや、役所自体のIT音痴を改善すべきです。 コロナウィルスの問題で分かったことですが、役所・社協や介護施設・農協・学校・集落等、自治体に近いグループが壊滅的にITに疎いということです。業務用としてスマホを持っていない。HPにはワクチン情報が正しく載っていない。全ての契約を紙で行っている。通信手段も未だに郵送とファックスに頼っている。(ファックスを持っている家庭の統計データを調べてみてください) 特に自治体に近い団体や企業はこういった非効率的で無駄な業務は行うべきではありません。 電話対応しかできないという状況であれば、人員が足りなくなるのは当たり前です。 DXという横文字を使う前にできることは山ほどあると考えます。	市民のデジタルデバインド(情報格差)対策も踏まえ、ご意見を参考にさせていただきます。 なお、本パブリックコメントは、市ホームページ以外に、防災無線や市報を通じて市民の皆様へ周知させていただきました。 また、ご意見を踏まえ、できることからデジタル化を進めてまいります。 【区分2】
5	3	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 (6) ダイバーシティ社会の	飯山市において、お隣に外国人がいきなり住むというのは現実的ではありません。 これは移住者でも同じことが起こりえますが、風習の違いにより集落になじめないというリスクがあります。 集落の価値観を変えるのは自治体の価値観を変えることより困難と思ひ	ご意見としてお伺いします。 基本目標4に掲げたとおり、年齢や性別、国籍、人種、障害の有無等に関わらず、誰もが個性や能力を発揮し活躍できるまちづくりに取り組んでまいり

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
		実現	ます。 風習の違い、または独り身世帯の場合は、全く地域の活動に参加せず孤立する可能性があります。 孤立する理由は集落の活動に参加しない、役をこなさない、あいさつをしない、ゴミを分別しない等シンプルな理由だと思います。 集落側の努力ももちろん必要ですが、本当は移住者側の問題なのではと思っています。 私の住んでいる地域では大きな問題は表出していませんが、独り身世帯は集落の活動には参加しづらいような土台があるように思います。 あとは、障がい者についてですが、特に四肢の障害をお持ちの方は受け入れ企業側のちょっとした工夫で通常の就業が十分可能なのだと思います。 特にこれから増えると思われる IT 系の仕事であれば、耳が聞こえなかったり、目が見えなかったとしても業務には不自由しませんし、足が動かなくても業務には支障がありません。人によっては手が動かなくても普通にパソコンの仕事ができるのかもしれない。 そういった現状があるにも関わらず、なぜか障がい者は一つのカテゴリイズされた世界に押し込まれているような印象があります。 そして、市政の中でそのような方々の就業を支援しているような広報を見かけたことはありません。 本当は現場で先頭でビジネスができるような人材が、障がい者というざっくりしたカテゴリーに当てはめられて押し込まれているのではないのでしょうか。 例えば市政の中で紹介された障がい者の方が上場会社に就職できたとして、その後飯山市で独立起業をする。 そのような流れが起きることが飯山市にとって本当に資することなのだ	ます。【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			と考えます。 飯山市は特に障がい者の活躍を支援すべきです。 地域もその人たちを支援する土台があるように思います。	
6	3	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 (7) エネルギーと食料の安定供給	安定供給と共に自給率を高めることを示すべきでは。	ご指摘を踏まえ、「食料の自給率の向上」を加えます。 (修正案)「また、世界の食糧需給の長期的なひっ迫が懸念されるなか、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアのウクライナ侵攻等により輸入国間の競合等の懸念が生じており、食料の安定した供給や自給率の向上が重要となっています。」 【区分1】
7	3	3 飯山市を取り巻く社会の潮流 (7) エネルギーと食料の安定供給	飯山市の農業は現在、年寄りの暇つぶしと化しています。 採算性のない農作物を納税をしない年金生活者が人々が延々と作り続けています。 休耕地は年数回の耕起で無駄な炭素を排出しています。 農業のあり方を根本的に考え直し、休耕地や、跡継ぎのいない老人の畑などを有効利用すべきです。 農業法人の設立や税制優遇などで誘致し、大規模な農業を行うべきです。	ご意見としてお伺いし、農地の有効利用も含め、引き続き農業振興に取り組んでまいります。 【区分2】
8	6	4 飯山市の現状 (2) 飯山市の人口動態	自然増減の出生数、死亡数を入れられないか 社会増減の中心が移住に重点が置かれているが片手落ちでは転出の人数要因を分析する事が必要では	ご指摘を踏まえ、出生・死亡や転入・転出の状況を加えます。 また、要因・分析を踏まえ、施策は前期基本計画において検討を行います。 【区分1】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
9	8	4 飯山市の 現状 (3) 産業	グラフのみの表示でこの10年間産業別にどう取り組むか具体性が見えない。例えば第1次産業が減少している要因今後どうするか等の明示を	当項目では「現状」を統計データとしてお示しし、要因を踏まえ、分野別の課題を「5 飯山市の課題」でまとめています。また、今後の対策については、前期基本計画において検討を行います。 なお、ご指摘を踏まえ、産業別のほか、業種別の就業者人口の推移を追加します。【区分1】
10	12	4 飯山市の 現状 (4) 市民のニーズ ① まちづくり 市民アンケート調査 生活環境の満足度と重要度	上段の表は何を表しているのか読み解けない、いくつもの項目を1つにまとめる無理があるのでは。	12 頁は、生活環境に対する市民の満足度・重要度を点数化し、満足度と重要度の関係を4つの区分「早期改善項目」、「随時改善項目」、「長期対応項目」、「現状維持項目」に分け、今後の取組の参考とするものです。 ご指摘を踏まえ、補足説明を加えます。 なお、当アンケート調査結果は、市ホームページへ掲載します。【区分1】
11	14	5 飯山市の課題 (1) 自然環境・移住定住・観光交流・新たな価値の創出	▶移住定住に関して 長野県の創業移住支援事業や飯山市の支援金を考えると お金の問題よりも住宅の選択肢を充実させる事が大切なような気がします。 ① 空き家物件の住宅に、住んでいた方の残留物が多すぎて ・自分達で全て処分しなくてはと思うと気が重くなるし費用が心配 ・残留物が多すぎて自分が暮らすイメージが付きづらい (残留物から滲み出る「ここは他の人の家」という雰囲気)	ご意見を参考にさせていただき、不動産取扱事業者と連携し、移住希望者に配慮した住宅の斡旋に努めてまいります。 なお、ごみ・資源物収集カレンダーやごみ・資源物分別ガイドブックをホームページで発信しているとともに、転

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
		移住定住について	・写真や仏具などは処分するのも気が引ける は単純に感じました。 →移住希望者に内見してもらう前に最低限の残留物撤去が必要。 そこで出た不用品で使えるような物は、市で「リサイクル市」みたいなのを開催し低価格で販売する。その際、移住してきた方や市に住むシングルマザーなど支援が欲しい家庭に対しては、購入割引券などを配布するのもいいかと思うし、他の地域からも買いに来てもらえるように SNS 等で大々的に宣伝してもいいと思う。市の物産市とか SDGs の取り組みと合わせるのもいいかもしれない。 不用品の一時保管は、これからの統廃合で小学校に空きが出来るはずなのでそこを使えば、体育館などで開催できるので楽かと思う。 残留物の中で廃棄になるものは、飯山市空き家活用等事業補助金（家財の運搬処分補助）を申請してもらい、ここに収まる範囲までは廃棄する。 どうしても残ってしまう分は、購入者にて廃棄してもらう。 撤去を手伝う人材については、地域おこし協力隊の方や、1 日アルバイトの方とかになるか…。 ② 移住者にしてみると自分で残留物を処理する際、紙類（段ボール）ペットボトル、木材（家具の解体含む）など再生可能な資材をどこに持ち込めばいいのか迷うのでエコパーク寒川の利用方法などの情報を貰えると助かる。	入時に配布をしておりますが、移住希望者にも分かりやすい情報発信に努めてまいります。【区分2】
12	14	5 飯山市の課題 （1）自然環境・移住定住・観光交流・新たな価値の創出 移住定住につ	③ 移住者検討者は移住者がどのあたりに住んでいて、どんな暮らしをしているのかが気になる。お名前は出さなくてもいいので移住者が住んでいる地域の世帯カウントが見たい。↓こんなイメージ	ご意見を参考にさせていただき、移住への相談や移住者の声の発信など、移住定住支援サイト「飯山市ふるさと回帰支援センター」（https://furusato-iiyama.net/）の充実に努めてまいります。 【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
		いて	 またそれに合わせて、その地域の ・空き家物件 ・通う予定になる小学校や近場の保育園など ・地域の特徴や見どころ ・その地域に住む人のインタビュー（地元の方&移住者） などがすぐに分かるようリンクを貼ってあると嬉しい。 私が移住地を探す際、地域の事は分からないし、学校はどこになるんだ？空き家はあるのか？など情報がまとまっていなくて調べるのに時間がかかった。 ▶松本市が出している「移住者が営むお店 MAP」は移住を検討している人には「応援してもらえそう」「活躍している人がいる」と知れていいと思うし、移住者同士を繋げるし事にもなると思うので是非、飯山市でも作成をお願いしたい。 参照ページ↓ https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/matsumotogurashi/4082.html	
13	14	5 飯山市の課題 （１）自然環境・移住定住・観光交流・新たな価値の創出	④ 20代～40代の子育て世代の移住者検討者の願い ▶産院の場所、選択肢がどれだけあるのか 飯山赤十字病院が平成 28 年度より分娩の取り扱いを中止している事を考えると、地理感が無い移住者にとっては不安があるので、近隣の選択肢（助産師さんなども含む）が分かると安心できると思う。合わせて、小児科や保育施設などをまとめたページや冊子があるといいかと思った。	ご意見を参考にさせていただき、出産から子育てなどに関する支援や施設などの情報について、現在導入している電子母子手帳アプリの有効活用なども含め、効果的な情報発信に努めてまいります。

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
		移住と子育て	▶小学校の統廃合についての構想や動きを知りたい 統廃合によりどのようなメリット、デメリットがあるのかを知りたいと思った。特に都市部に住んでいると統廃合はほぼないので、想像がつかないし、現時点では構想がよく分からない。（通学が大変になる子ども達の事を考えると、小学校の統廃合をせず、ICT を活用した遠隔合同授業を行うのは不可能なのか？とも思う） ただ統廃合によって新しい学校のスタイルに変化する切っ掛けになるのであれば、その内容によっては時代に合った教育を求めている親には魅力である。長野県にはモデルケースになる面白い学校がある（伊那小学校、美麻小中学校、大日向小学校、風越学園、各所の山村留学など） ぜひ飯山市の小学校教育（中学校も）でも、自分の頭で考える探求型の学びを取り入れてほしい。多分それが地域に誇りを持った子ども達の育成に繋がる。 ▶乳幼児～小学生ぐらいまでの支援は結構あるし、保育園や小中学校に関しては地域のものに通う子が多いと思うので、すぐに調べられたが、私が困ったのは、飯山市から通える高校の選択肢はどれくらいあるのかが分からず、長期的な子育ての成長イメージがしづらかった。 飯山市から実際に子ども達が通っている高校などの一覧（学校の HP をリンク）や通学方法、N高などのネット学校なども含め、一覧があると良いと思った。 ▶高校生ぐらいになると、子ども割引が使えなくなる。 学費、塾代、定期代、携帯代金、衣類、など一気に負担がくと思うので子育て支援に市とし個性を出すのであれば、高校生を持つ親への支援があっても良いと思う。 中高生へのサービスとして学習支援クラウドサービスで、学習動画やWEBドリルが使えると良い。生徒側は無料か一般的な学習塾よりもテキスト代負	また、新統合小学校開校に向けて、保護者の代表者をはじめとする皆様に参加いただき、様々な課題などについて検討を進め地域懇談会などの開催も行っているところです。資料などについて市ホームページでご覧いただくことができますのでご意見などよろしくお願いいたします。今後の検討にあたり参考とさせていただきます。 その他ご意見につきましても、今後の取組みの参考とさせていただきます。【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			担が少ないと良い。 ただ、学ぶとその知識を使うために（高く買ってもらうために）都心に出てしまう問題点があるので、やはり「飯山市が好き、ここに恩返しをしたい」という思いを子どもたちに感じてもらえるような、仕組みづくりは必須になる。 ▶学校の統廃合で、各学校の図書室にある本がかなり重複する事が考えられる 飯山市は図書館が駅の側に1か所のみなので、学校図書室から出た本をベースに飯山市の中間地点辺り（戸狩辺り？）に、図書館分館のような施設が作れないか？（地域活性化センターなどを回る、移動式の図書館でもいいと思う） ▶都心部からの移住者は子どもの習い事やイベント（ワークショップなど）の少なさに驚く場合がある。 個人で教室を開かれている方はHPなどもなく（あっても更新されていなくて不明慮）、移住前に見つける事が難しく、子どもの教育や能力開発を考え地方都市（長野市、松本市など）を最終的に選ぶことになる人もいる。 個人で教室を開かれている方の紹介や学校でのクラブ活動、市主催の子供向けイベントなどをまとめて見られるページが欲しい。	
14	14	5 飯山市の課題 （1）自然環境・移住定住・観光交流・新たな価値の創出 移住と子育て	▶子育て支援に関して総じて思う事 移住を検討して、様々な自治体のHPから子育て支援などを見たが、どこも似ていて、また妊娠～幼児期の支援が中心で物足りなさを感じた。 高齢化が進んでいくことが懸念される地域は、元気な子供が一定数いるうちに、子ども達への支援や環境づくりを変革していく必要があると感じる。 小学生にもなれば、自分で考える力も付いてくるはずだからどれほど自分たちの町が魅力的か、こんなに地域の人に支えてもらっていると感じさせる機会を増やす事と、どの学校に行きたいの？どんな職業に就き	ご意見を参考にさせていただき、職場体験など生涯学習の充実を図るなど特色ある子育て・教育環境づくりに取り組んでまいります。 【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			たいの？ではなく「どう生きたいの？」「どんな大人になりたいの？」を問う、感じ考える余地のある教育が必要になると思う。 勉強したい子（進学）、働きたい子、何かを作りたい子（農業、伝統工芸、アート、お菓子、服飾など）、研究したい子、助けたい子（医療、介護、福祉、保育など）自分が何をしたいか、何が向いているのか？と感じる子には中学生になったら、どんどん現場を体験させて、親や先生以外の大人と沢山関わり進路を決めるきっかけを作ってあげたい。（ここで関係人口が増える事によって町に愛着がわく利点もあるはず） また中学生時代にインターネットを使って商売する方法なども知れていれば、むやみに都会に出る子も減るかもしれないし、「半農半 x」を担う子が育つ可能性がある。	
15	14	5 飯山市の課題 （１）自然環境・移住定住・観光交流・新たな価値の創出 新幹線飯山駅開業によるインバウンド&旅行者	① 統廃合で小学校に空きが出来るはずなので、そこを使って小諸にある「青雲館」のような体験型の施設が出来ないか。 味噌の仕込み、豆腐作り、そば打ち、わらじ作りなど体験できるものを増やす。外国人（都市部住みの人）向けのワークショップでは地域の子供たちがアシスタントとしてボランティアに入ったりするのも双方のいい経験になるかも。（子ども同士が繋がると、また会いに来たくなるという仕掛けにも） 北海道東川町はモンベルの誘致をきっかけに、おしゃれなコーヒーショップ、パン屋、雑貨屋などのスモールビジネスが広まり、点在するおしゃれなお店をめぐる楽しみも生まれた。これは飯山にも起こって欲しい流れ。 しかしコロナにより社会状況が読めない現代、多額の責任を負って起業することが飲食をはじめ小売りなどもハードルがかなり高くなっているため 様々な場所で商売できるキッチンカーに対する購入補助金や、日ごとに店主が変わる「シェアカフェ」のようなチャレンジ施設、菓子製造許可可能なレンタルキッチンを作り、そこで作られたお菓子を販売できる委託型セレクトショップ（雑貨や日本的な民現品などと一緒に）みたいなものが出来たら、店	ご意見を参考にさせていただき、統廃合後の廃校の利活用を検討してまいります。 また、起業支援制度のPRを図るとともに、よりニーズに合った支援制度を検討してまいります。【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			舗開業を目指す人のチャレンジを応援できる（主婦などでも挑戦しやすい）地域で需要があるかを前もって知れる、本格的なオープンの前にお店にファンが付く、などによりスタートアップがうまくいく可能性が高まるし、お客さんにとっては様々な商品に触れる機会ができていいのではないかな。	
16	15 18～ 24	5 飯山市の課題 （４）市民協働・生きがい・文化 3 基本目標毎の取組	資料１５頁の「５飯山市の課題（４）市民協働・生きがい・文化」では、「◆市内にある文化財や歴史的景観を適正に保存し、後世に伝えていくことが必要です。」となっています。 しかしながら、第２章基本構想「３基本目標毎の取組」に記載の基本構想・基本目標の中に、有形文化財・無形文化財・文化的景観などの文化財に係る言及について、読み取ることが出来ません。 各地区・集落の持つ文化財や伝統芸能の継承、統合される小学校の持つ文化財などの継承などの視点を総合計画基本構想に取り込むことが必要と思慮し、基本目標における検討を提案します。	ご指摘を踏まえ、文化財、歴史的景観及び伝統芸能の保存などに関する取組の概要を加えます。 （修正案）「市内にある有形無形の文化財及び文化的景観の保存や活用を図るとともに、その魅力を世界に発信します。」 【区分１】
17	15	5 飯山市の課題 （４）市民協働・生きがい・文化	リカレント教育（大人の学び）は大切です。 ただ「仕事に活かす学び」だけでなく「より豊かな人生を送る」「仲間と出会う」こともとても大切だと感じています。 これから「まち」を面白くしていくきっかけに結びつくような学びの機会が出来たらよいと思うし、まちをキュレーションしていけるような人材を育てていくことが大切に思います。 （北信地域からやる気のある面白い人が集まるような場所を作れたら最高ですね） 新幹線が止まる！を活かして都市部の面白い人をゲスト講師に呼べるのも強みだと思います。 参考： ▶自由大学 https://freedom-univ.com/ ▶丸の内朝大学 https://asadaigaku.jp/	ご意見を参考にさせていただき、個人のスキルアップのみならず、人と人が繋がり合い、地域の魅力や活力を高められるような取組みについても検討します。【区分２】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			▶シブヤ大学 https://www.shibuya-univ.net/	
18	18	1 将来のまちの姿	「里山」をキーワードとしながら「まち」の姿とするところに違和感があります。 「里山」の価値を市民が共有できるようにしっかりと定義づけをして欲しいと思います。里山は、人が係わり手を入れて「作られた自然環境」であり「守り続けられてきた自然環境」で、人が係わり続けないと維持できないものです。「眺めているだけ」では失われていく自然環境であることを市民と共有し、市民の積極的な保全活動への参加を呼びかけてこそ「里山」を創造することになると思います。いまあるものに磨きをかけて魅力にしてい（現状で魅力的だろうか？）には、成り立ちを知ることが大切だと思います。ひとりひとりが魅力を語れるようにしたいと思います。	「まち」は、自分たちが暮らしている場所として、「まちづくり」などと同様に、誰もがイメージできる一般的な単語を使用しています。 また、「里山」の成り立ちや価値については、「将来のまちの姿」（18 頁）における「飯山郷創」、「世界にひらく」、「里山の未来」のそれぞれの考え方を市民と共有するとともに、世界に誇れる里山づくりを市民とともに進めます。【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
19	20	基本目標 1	「里山」の魅力的な地域を選定して、その里山の環境整備に参加出来ることを「魅力」としてはどうでしょうか。森林整備、遊休荒廃農地の復活、小水力発電などSDGs的な里山創造に参加出来るようにしたら都会から人を呼べると思います。	ご提案を参考にさせていただき、世界に誇れる里山づくりへの参加を「魅力」として発信したり、関係人口創出などにつなげるなど、取組みを検討してまいります。【区分2】
20	21	基本目標 2	子ども達の学びに「里山」について体験的に学び、故郷の「里山」に関心と誇りを呼び起こせる教育を行って欲しいです。市の花「ユキツバキ」の花を見たことがある子どもがどれくらいいるのでしょうか。	ご提案を参考にさせていただき、「里山」に関する生涯学習やふるさと教育の充実を図ります。【区分2】
21	22	基本目標 3	「世界に誇れる技術を持つ」というのは具体的にどのような技術でしょうか。（飯山市の具体的な企業を指しているのでしょうか） どのくらいの市民が飯山に住みながら世界とつながっていると実感しているのでしょうか。 住んでいる人間が飯山市に産業が活発化し、世界と勝負することを本当に求めているのでしょうか？ この素案には、具体的に世界に打って出る施策が明記されていないので夢物語のように感じてしまいます。 10年間で世界と勝負するところまで本当に持っていくつもりなのでしょうか。 どのような理念で、どのような方法で？ あくまで素案だからと言いたところですが、おそらく正式なものになっても具体的な内容は期待できません。 思い切って、もっと生活に根付いた内容にしてはいかがでしょうか。	基本目標3の「世界に誇れる技術を持ち」については、今後、新たな時代への挑戦の中で、イノベーションなどにより、現在の技術を高めたり、飯山市の特性を生かし新たな技術が生まれたりすることなどを指します。 なお、現在においても経済産業大臣指定の伝統的工芸品である飯山仏壇づくりや内山紙づくりの職人の技術や、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で入賞するなどの農家や団体が持つ栽培技術においても世界に誇れる技術であると考えております。 また、ご意見のとおり、「飯山市とい

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			たとえば産業の例でいうと、「飯山市といえば〇〇である」といった、既存の産業をPRするところからスタートすべきです。 日本全体で知られている上で、世界で勝負すべきです。 ちなみに世界で勝負するのであれば、すでに外国人に知られ始めているようなスキー関連等の産業に特化してはいかがでしょうか。 素案には具体的にそのような例を載せるべきです。	えぼ〇〇である」については、飯山市のブランド化に関する重要な施策として、前期基本計画で検討を行います。 【区分2】
22	23	基本目標4	リカレント教育に「里山学習」を導入して、里山づくりをカリキュラムにして、次世代へ継ぐ生き甲斐生み出す施策が欲しいです。	ご提案を参考にさせていただき、生涯学習において、これまでの取組も踏まえながら、「里山」の営みや豊かさを学べるような取組を検討してまいります。【区分2】
23	24	基本目標5	社会保障制度が破綻していること、自治体の救済制度に限界があることは現役世代は気づいています。 人口を増やす方向性ではなく、今の人口もしくは減少した状態で人々が元気に生活できる施策が必要です。 今の飯山市は移住者が増えていることをアピールしているが、飯山市に持続的に納税できる人を移住させているのでしょうか？ はっきり言うと低所得者や、条件だけで移住するような転勤組を移住させても、自治体の負担が増えるだけのようになります。 移住者を優先させるのではなく、生まれ育った実家をしっかりと継がせることを支援し、持続的にちゃんと高額納税できるような人材を小学校のうちから育てることが重要に思います。 新幹線はそのために有効活用すべきです。 飯山に住み、東京・金沢からビジネスを持ってくるような人材育成に力を入れるべきです。 また、自然環境については世界的な統計の気候変動よりも、具体的に飯山	ご意見のとおり、人口減少下においても、生活できることが必要であり、基本目標の5において、集落維持を掲げているほか、防災減災対策などを盛り込み、安全で安心して暮らしを愉しめるまちを目指します。 その他、ご意見としてお伺いし今後の参考とさせていただきます。 【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			エリアでの危険性を確率で考えるべきです。 つまり、温暖化で具体的に飯山市にどのような影響が出るか調査したり、海面上昇と水害の関連性、または降水量の関連性等です。 飯山市は平均気温が上がることへの対策よりも、水害対策や雪害対策に集中すべきです。 特に水害対策については不十分な印象です。 堤防の在り方を抜本的に見直して改革すべきだと思う。 大規模な水害が発生すれば10年後人は住めなくなってしまう。	
24	25	用語 里山	「里山：一般には、人里近くにある、生活に結びついた山や森林のことをいうが、この計画では、世界から見て、恵まれている自然環境があり、自然と人が共生している飯山市全体のこと。」の定義がご都合主義であり、外から見たときに飯山市は「里山」の認識を間違っているという印象を与えるだけでなく、飯山の自然の魅力を正しく捉えていないと思います。 「飯山市は本当に自然と人が共生して」いるのでしょうか？その問いかけから始めて欲しいと思います。 田舎暮らしを考える意識高い系の人には「偽物」とわれてしまいます。「里山」が成り立ってきた歴史文化から学び、それを維持しようとするところからこれからの未来のコミュニティや日本らしいSDGsが達成できるのではないのでしょうか。ギフチョウやヒメギフチョウが混生する貴重な里山環境がどうやって生まれて、どう維持されているのか。子どもから大人まで一緒に学びながら飯山の環境を守っていきましょう。また、そういう環境と情報が発信されることで観光地としても移住先としても選ばれていくのだと思います。今のままの里山の「まち」は、決して魅力的には思えません。生き生きとした本物の「人がちゃんと関わりを持っている」里山にしていくことで、人が住む「まち」として魅力的になるのだと思います。 「本物」であるからこそ、多くの人に選ばれるのだと思います。都合良く	用語に「里山」を掲載したとおり、本計画の「里山」は一般的にイメージする限定的な範囲ではなく、自然の中にある新幹線駅とその周辺も含めた市全体を指しております。 ご提案を参考にさせていただき、里山の成り立ちの学びや自然環境保全に関する取組を通じて、市民とともに、魅力的な里山づくりに取り組んでまいります。【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			「里山」と呼ぶ・・・のは、いかがなものでしょうか。「本物でありたい」という姿勢が共感を呼ぶのだと思います。	
25	25	用語	これだけの用語説明が必要な文面はどうか 特にカタカナが多く使われている。改善が出来ないか。	これからの時代に対応する計画に見合った記載をしているほか、別の表現では、かえって分かりづらい場合がございますので、用語集で対応させていただきます。【区分2】
26	—		一番大切なことが素案に記載されていませんでした。 飯山市を引っ張る「リーダー」についてです。 古来、飯山地域に住む先人はもともと再生可能なエネルギーによる生活を営んできました。 それを戦後世代が、時代の流れで壊さざるを得なくなり、その壊した代償を現役世代と今の子供たちが背負うことになっています。 この負のスパイラルは社会保障制度でも同じことです。 団塊世代が充実した社会保障や介護保険を享受している後ろで現役世代が増税にあえぎ、親と同居しているという理由で介護施設に入れない親の介護で疲弊し続けるわけです。 このまま行けば、 10年後の飯山市が待ち受けるのは ・ 猛烈な高齢化による税収減と市政への負担 ・ 現役世代（働き手）不足 ・ 介護施設に入れない親の介護に疲弊する現役世代の急増 ・ 水害による大災害のリスク ・ ようやく導入した高額な DX 関連のシステムを使いこなせず市民の情報がダダ洩れです。	ご意見として伺います。 なお、基本構想の素案づくりにおいては、若い世代（30～45 歳代）で構成する市民アイディア会議を中心に検討を行っております。これから飯山市の将来を担う若い世代の目線で将来のまちの姿を描き、様々なアイディアを出しながら検討を行っております。 この会議は、総合計画策定後も引き続き開催し、将来を担う若い世代の目線で様々な意見をいただき、政策に反映していきたいと考えております。 【区分2】

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			移住してきた人は、こういった大きなリスクと直面することになるわけです。解決策は一つあります。 今の時代の価値観を持っているリーダーの存在です。 リーダーとは、集落（隣組）、グループ、会社社長、各種団体、商工会、市議会、市役所等等、さまざまな場所で先頭に立つ人です。 つまり「リーダーの平均年齢を大幅に下げる」ということです。 今は権力や利権にしがみつく60～70歳の老人が目立ちますが、これを20歳若返えさせるわけです。 「これから」飯山市で生きていく人の価値観が一番重要です。 私も含め、老人は若者の考えを聞き、仕事をまかせ、あえて小さな失敗を重ねさせるべきです。 学生以外の20～30代の若者を飯山市の商店街で見かけることは少ないです。 ほとんどが60歳以上の年寄りです。 あたりまえです。現代では商店街は60歳以上の人が利用する場所だからです。 30才のビジネスマンが商店街のホテルをわざわざ利用するのでしょうか。 駅前の新しいホテルの方が綺麗で使い慣れているからそちらを利用するのです。 古いものや老人が悪いというわけではありません。 老人では「今の時代の価値観」を持ちづらい。ということを言いたいのです。	
27	—	隣組、PTA 活動の見直しについて	地域に住み、PTA 活動に参加した人なら多くの方が感じていることだと思います。 とにかく「無駄な作業や集まりが多い」ということです。 コロナの良い影響でこういった無駄な作業や集まりがなくなったのは良かったと思っています。	ご意見として伺います。 将来のまちの姿に掲げた「飯山郷創」には、「時代の大きな転換期を迎え、変化を求められています」としており、これまでの取組みを踏まえ、これからの

NO	頁	項 目	意 見	市の考え方・対応
			しかし、不要になった作業や集まりをコロナ収束するたびに復活させようとする人たちがいるのです。 こうやって現役世代の時間と労力を無駄にするわけです。 隣組の活動ではイベント係や育成会、校外指導等、多くの役回りがあります。 その多くは戦後に発生した役回りだと思います。 戦後～高度成長期ではうまく機能したと思います。 しかし、その後、子供の数は激減しました。 激減した子供が現役世代になり、子供が増えない時代になりました。 つまり、隣組の活動を「行う人材が少なく」なっているにも関わらず、戦後のままの役回りを延々と繰り返しているわけです。 これは PTA 活動でも同じことが言えます。 子供の数が激減したのに、同じ小学校で校舎の半分の敷地を使っていて、掃除が間に合っていない。 また、グラウンド整備や子供たちとの活動、校外指導等、やることは戦後と同じだけあるのに、行う役回りの人材は少ない。 PTA 活動については、誰もが一度は役員をやらされるという事態になっています。 その役回りについても、特段不要と思われるような仕事も多く、多くの方がモチベーションを持てないような状況が繰り返されています。 こういった根本的な問題は集落単位や各学校の PTA 単位では決断することが困難です。 市政の枠組みの中で、集落や PTA の在り方などについても方針だけでも改革する必要があるように考えます。	まちづくりを皆で知恵を出し合いながら進めていきたいと考えております。 【区分2】